



B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R2	R3	R4	R5	R6		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

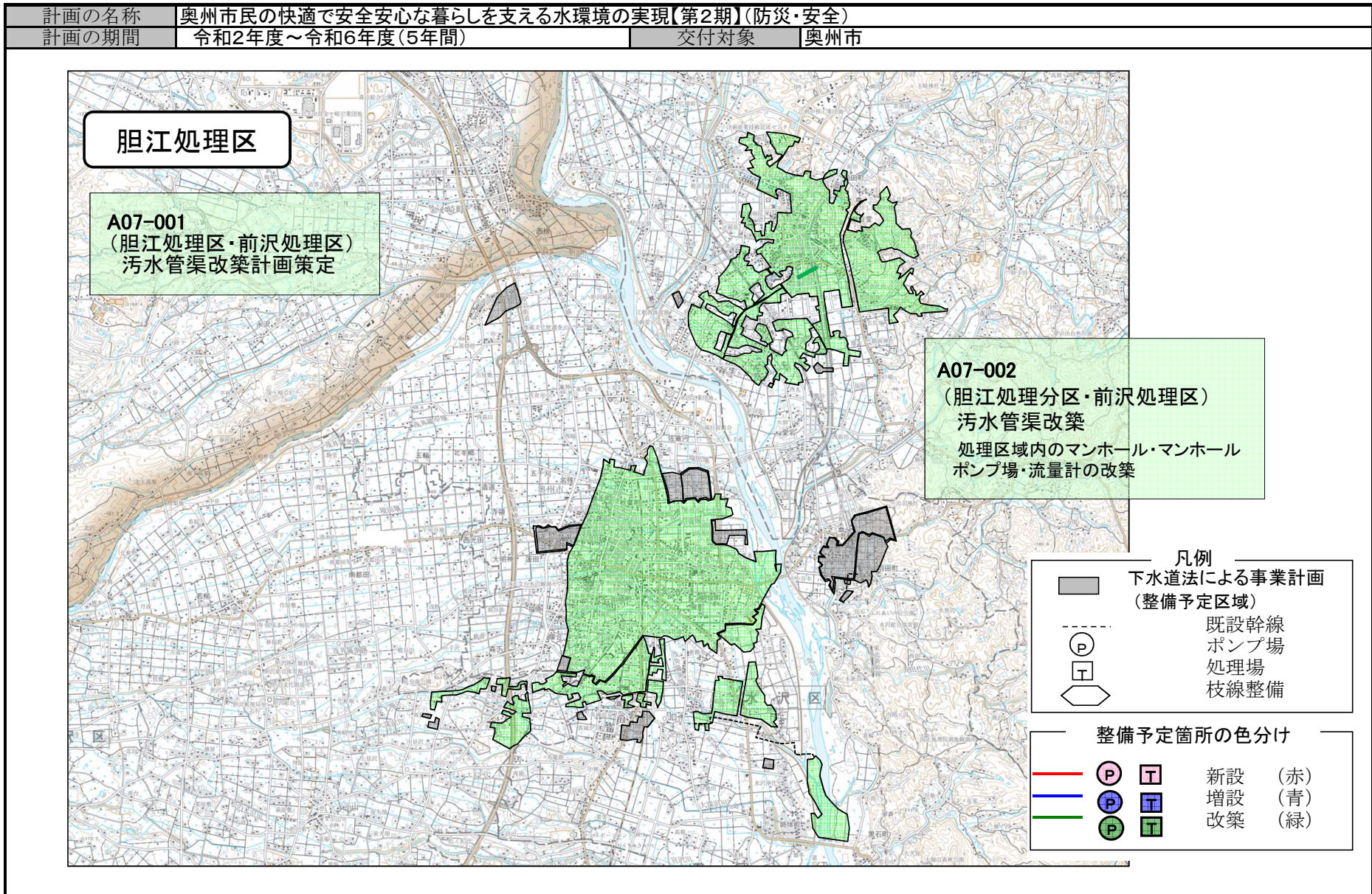
C 効果促進事業													上段：計画 下段：実施				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R2	R3	R4	R5	R6		
合計													0	0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

その他関連する事業													上段：計画 下段：実施										
計画等の名称 ○○市における循環のまちの実現													全体事業費 (百万円)	備考									
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)					市町村名																
全体事業費													0.0%	0.0%									
合計 (A'+B'+C')													0百万円 / 0百万円	A'	0百万円 / 0百万円	B'	0百万円 / 0百万円	C'	0百万円 / 0百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))		0.0%	0.0%

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況													・長寿命化計画に基づく改築工事を実施することにより、ライフサイクルコストの削減を図ることが出来た。				
II 定量的指標の達成状況													指標① (前次下水浄化センター長寿命化対策の実施率)	最終目標値	24%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおりに事業を推進することが出来た。
													最終実績値	24%			
													指標② (管路の長寿命化対策の実施率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおりに事業を推進することが出来た。
														最終実績値	100%		
														最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
														最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)													・長寿命化対策の改築整備の他、管路施設における腐食の恐れのある箇所の法定点検を行い、施設の現状を把握することにより適切な維持管理に資することが出来た。				

3. 特記事項 (今後の方針等)												
・引続き各事業を進めることにより、奥州市民の安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な水環境を確保する。												

(参考様式3) (参考図面)



(参考様式3) (参考図面)

